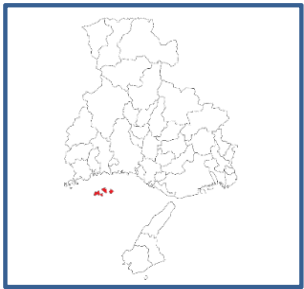


- 兵庫県の離島において、日帰り観光から宿泊型観光「渚泊」への転換を図るため、漁業を主力コンテンツとした食や体験プログラムの充実や情報発信、宿泊施設の増加を推進。
- 島の将来に問題意識を持った住民が任意団体を立ち上げ、多様な関係者を巻き込み島ぐるみでの協議会を設立。大手旅行会社とも連携しながら渚泊を売り込み。

## 【地域の概要】

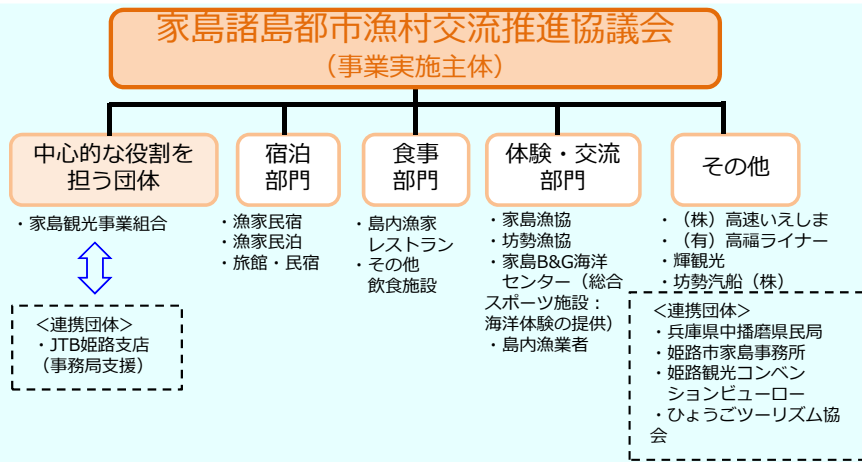


## ＜地域の特徴＞

- 兵庫県有数の漁業の町として知られ、兵庫県下でも有数の漁獲量を誇る。
- 大阪から約2時間。姫路港から約30分。
- 主要産業は漁業、採石業、海運業。
- 公共事業の激減に伴う石材の出荷量の大幅減少により、主要産業が衰退する現状にある。



## 【実施体制】



## ＜協議会設立の経緯＞

- 島の将来への問題意識をもった若手住民により、観光協会のなかに企画推進部会を立ち上げ、市町村合併による観光協会の消滅を契機に、H18に観光事業組合を設立。
- 地域ぐるみの取組とするため、漁協、フェリー船事業者、商工会、自治会等の30団体が参画。
- 会員から組合費を徴収し、家島観光事業組合の運営費に充てている。

## ＜運営体制＞

- 島内の事業者を中心に協議会を構成。連携団体として行政団体も参画するほか、JTB姫路支店と密に連携し、商品開発やツアー商品の販売等に取り組む。また、姫路観光コンベンションビューローやひょうごツーリズム協会など地域のDMO等と島の情報発信などについて連携をすることにより、集客を図る。



勉強会開催

## 【取組内容】

### ＜宿泊＞

- 漁家民宿、漁家民泊、割烹旅館にて受入。受入体制整備のためJTB姫路支店と連携し勉強会やおもてなしの研修会を開催。その結果、坊勢島において、今までになかった漁家民宿が2軒開業。引き続き更なる民泊数の増加を目指す。



料理旅館おかべ



いえしま荘



漁家民宿

### ＜誘客コンテンツ＞

- 島の最大の資源である新鮮な魚介類を主力コンテンツとして、じゃこ鍋(地元の魚を鍋にした郷土料理)や坊勢サバを使った鯖寿司を開発。
- 地域資源を活用した着地型体験プログラム「家島しま旅」として、鯖の餌やり体験等のほか、渚泊に連動する夜間、早朝の体験プログラムを開発。



じゃこ鍋



家島しま旅



鯖の餌やり体験



漁業体験

### ＜その他＞

- 世界遺産姫路城の観光客(欧米豪を中心としたインバウンド含む)をターゲットに誘客。
- 姫路観光コンベンションビューローと連携し、インバウンド向けに家島の宿泊施設を紹介してもらい、インバウンド宿泊者数の増加を推進。

インバウンド宿泊者数(人)

